

大阪高等学校

「オープンスクール実施における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」

文部科学省「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」、大阪府の「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」に基づき作成いたします。

感染防止対策

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、教職員、オープンスクール企画運営委員、クラブ・同好会部員、オープンスクールに携わる在校生は、検温、フェイスシールドまたはマスク(熱中症対策が必要な場合は除く)の着用、手洗いや消毒などの手指衛生等「新しい生活様式」に基づく行動を徹底し、当日発熱などの症状がある場合は、登校は控える。
- 常にソーシャルディスタンスを意識し、密にならないように配慮する。
- 各使用施設の入り口や使用教室にアルコール消毒液を設置する。
- 大声を発したり、食事を伴う企画は実施しない。
- 参加者には、当日の検温、マスクの着用(熱中症対策が必要な場合は除く)と、発熱・咳の症状や体調に不安がある場合は、無理をせず参加をお控えいただくよう、広報開始から予約後の連絡(ホームページを含む)の都度明記することで徹底する。
- 正面玄関に「AI 顔認識・体表面温度測定サーマルカメラシステム」を設置する。
- 同伴者は1名(予約時に登録)とし、参加人数は800名限定とする。
- 参加人数限定の来校型の他に同時 Web ライブ配信(予約登録)をする。
- オープンスクールに関わる在校生の保護者に当日お子様が参加することの同意を求め、許諾いただいた在校生のみ参加する。

受付での対応

- 玄関駐車スペースで上履きに履き替え、自動消毒機で手指を消毒した後、事務室前を通過して、D アリーナ OSAKA へ誘導する。
- 玄関で上履きに履き替えた参加者の体温を事務室前で「AI 顔認識・体表面温度測定サーマルカメラシステム」で確認する。
- 37.5℃以上の発熱が確認された場合は事情をご説明して再検温し、37.5℃以上の発熱の場合は、資料をお渡ししてご参加をご遠慮いただく。
- マスクを持参していない参加者にはマスクを配布する。
- 接触感染防止のため、アルコール消毒液の利用を促す。
- 飛沫感染防止のため、受付スタッフ同士、スタッフと参加者あるいは待機者の列においても間隔を十分に確保する。
- 資料等の受け渡しを行うスタッフは、手袋を着用する。(メインアリーナ入口)
- 説明会会場 D アリーナ OSAKA の2階メインアリーナには、南館1階廊下から入り左右に分かれて入場。メインアリーナ内の受付カウンターで、予約カード回収あるいは、予約番号を確認して、資料をお渡りする。

各会場・教室での対応

- スタッフは、フェイスシールドまたはマスクを着用する。
- 説明会会場 D アリーナ OSAKA の2階メインアリーナは、参加者800名までとする。
- 説明会会場メインアリーナの出入り口や窓は常に開放して、換気を徹底する。1階部分も送風機設置。
- 説明会会場メインアリーナでは、スタッフ同士、スタッフと参加者、参加者同士の間隔を十分に確保する。
- 各教室の収容率は、50%以下とする。
- 接触感染防止のため、アルコール消毒液の利用を促す。
- 各教室の出入り口や窓は常に開放しておく。
- 感染防止のため、参加者が密にならないようにスタッフによる誘導、入場者数のコントロールを徹底する。
- 飛沫感染防止のため、授業形式の教室では座席1列目は利用せず、2列目以降は前後と隣が空くように座席を設置する。
- 各企画の終了後は、十分換気をおこない、消毒作業を行う。

クラブ及び同好会見学・体験の対応

- スタッフは、フェイスシールドまたはマスクを着用する。
ただし、運動系の場合は熱中症対策のためマスクの着用を必要としないが、接触や間隔には十分注意する。
- 接触感染防止のため、アルコール消毒液の利用を促す。
- 筆記具等の共有をできるだけ避ける。筆記具を参加者にお貸しする場合は、消毒してからお渡りする。
- 参加者のお名前を記入する用紙を用意して、記入していただく。
- 屋内の各会場の出入り口や窓は常に開放しておく。
- 感染防止のため、参加者が密にならないようにスタッフによる誘導、入場者数のコントロールを徹底する。
- 感染防止のためスタッフ同士、スタッフと参加者、参加者同士の間隔を十分に確保する。
- 屋内の企画の終了後は、十分換気をおこない、消毒作業を行う。
- 屋外の企画の終了後は、使用道具等について消毒作業を行う。

個別相談の対応

- スタッフは、フェイスシールドまたはマスクを着用する。
- 接触感染防止のため、アルコール消毒液の利用を促す。
- 相談時間は20分以内とする。
- 筆記具等の共有をできるだけ避ける。筆記具を参加者にお貸しする場合は、消毒してからお渡りする。
- 相談ブースは1m以上の間隔をあけて配置し、それぞれの机上で飛沫感染の防止対策を行う。
- 相談終了後は、その都度アルコールや除菌シートによる机や椅子の清拭消毒を行う。
- 個別相談の待機者が密にならないように、スタッフによる誘導、待機人数のコントロールを徹底する。

その他

- 参加者が参加したイベントを把握できるように記録をとる。
- 社会状況によってはオープンスクール来校型及びWebライブ配信の中止がある。